

## 平成20年度第1回千葉市社会教育委員会議事録

- 1 日 時 平成20年5月16日(金)午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 千葉ポートサイドタワー12階第1会議室
- 3 出席者 (委員)  
犬塚議長、西川副議長、池田委員、伊坂委員、大和久委員、菊池委員、高宮委員、田原委員、日置委員、平木委員  
(事務局)  
河野生涯学習部長、本庄生涯学習振興課長、田中社会体育課課長補佐、村松青少年課長、田口中央図書館長、鈴木生涯学習振興課主幹、湯浅生涯学習振興課長補佐、廣森生涯学習振興課主査、君塚生涯学習振興課社会教育係長、鈴木生涯学習振興課主任主事、木村生涯学習振興課主任主事
- 4 議 題 (1)平成20年度生涯学習部主要事業概要について  
(2)平成20年度社会教育関係団体への補助金交付について  
(3)その他
- 5 議事の概要 (1)平成20年度生涯学習部主要事業概要について
  - ・平成20年度教育委員会一般会計歳出予算の概要について、生涯学習部長が説明を行い、委員からの質疑に対して回答しました。引き続き生涯学習部各課及び中央図書館から説明を行い、委員からの質疑に対して回答しました。(2)平成20年度社会教育関係団体への補助金交付について
  - ・生涯学習部各課から説明を行いました。(3)その他
  - ・長澤委員作成の資料について、犬塚議長より説明を行いました。
  - ・事務局提出の資料について、生涯学習振興課長より説明を行いました。
  - ・事務局より、平成20年度指定都市社会教育委員連絡協議会が5月30日に仙台市で開催されます。本市からは犬塚議長、西川副議長が出席の予定となっております。また、平成21年度の協議会開催市が千葉市であることを報告しました。

## 6 会議経過

### (1) 平成20年度生涯学習部主要事業概要について

(議長) 平成20年度生涯学習部主要事業概要について、事務局より説明をいただきます。

(事務局) (生涯学習部長が生涯学習部主要事業概要について説明。)

(議長) このことについて、何か質問等がありますか。

(委員) 科学館による減額は分かりますが、他の部局と比較して同様でしょうか。

(事務局) 市全体として減額となっております。

(委員) 旧文化課の所管事務についてですが、生涯学習振興課のほうに文化財と市史編纂業務が残されておりますが、文化行政というのは、その他にもいろいろあるかと思えます。教育委員会が行う文化行政についてはこの2つに限定するということでしょうか。その他の文化行政的なことについては、教育委員会では扱わないことでしょうか。

(事務局) 市長部局に文化振興課、また教育委員会に文化課がありまして、同じような業務を行っていたところ、統合的、計画的に文化行政をより効率的に進めていくために文化振興課へ移管したところであります。

ただし、文化財や市史編纂については、市長部局には馴染まないことから生涯学習振興課へ事業を引き継いだところであります。

(委員) 後援申請についてですが、市長部局と教育委員会の後援申請の窓口が異なることで、市民からの苦情とかはありますか。

(事務局) 今のところ、そのような話しは伺っておりません。

(議長) 次に、各課の主要事業概要について、事務局より説明をいただきます。質疑については、全ての説明が終了後、一括してお願いいたします。

(事務局) (生涯学習振興課、社会体育課、青少年課、中央図書館の順で主要事業概要について説明。)

(議長) このことについて、何か質問等がありますか。

(委員) 科学館についてですが、昨年度が約3億円、そして今年度が約5億円となっているが、今後、益々増加していくのでしょうか。

(事務局) 昨年度の管理運営費の約3億円ですが、これは10月20日に開館後、約半年の経費となっております。本年度の約5億5千3百万円については、一年間を通しての管理運営費となっております。また科学館については、指定管理者制度を導入しており、総事業費から利用料金収入を差し引いた金額を委託料として指定管理者へ支払うものとなっております。この委託料の他に、共益費などを含めた金額が管理運営費となっております。毎年、若干の変動はありますが、同額程度の支出となります。

(委員) 運営はどのようになっているのでしょうか。

(事務局) 運営については、基本的な事項について協定書等を取り交わしております。また、指定管理者の提案により、年始は1月2日より開館するなど柔軟な運営を行っています。

(委員) ボランティアは無償で活動しているのでしょうか。

(事務局) 基本的には無償ですが、1日4時間以上の活動に対して、交通費程度の支給を行っております。

(委員) 素晴らしい施設なので、今後も利用者を多くするような工夫を行っていただきたいです。

(委員) 市民ゴルフ場について、説明をお願いいたします。

(事務局) 市民ゴルフ場についても、指定管理者制度を導入しております。独立採算の事業であり、市からの委託料の支出はございません。また、提案により、収入の10パーセントが市に納入されることとなっております。

(委員) 少年自然の家について、PFI事業にも係わらず、このような事業費になっているのでしょうか。

(事務局) 将来、公有財産を取得するために、建設に掛かる費用について償還しているものであります。

(委員) 予算が削減されることにより、公民館などの講座はどのようになっているのでしょうか。また、何らかの工夫をしているのでしょうか。

(事務局) 公民館の例をとってみますと、今までと同様の内容で講座を実施するのは難しくなっております。具体的にどのような取組みを行っているかと申しますと、ちばボランティアセンターに登録しているボランティアの活用や民間企業による無償の講師派遣などを活用し、限られた予算の中で工夫をして講座を行っております。

(委員) 今後、発想を変えていかないといけないのではないのでしょうか。

(議長) 他にご質問等ございませんでしょうか。なければ、次の議題に入らせていただきます。

## (2) 平成20年度社会教育関係団体への補助金交付について

(議長) 平成20年度社会教育関係団体への補助金交付について、事務局より本議事の諮問理由について説明の後、事業についての詳細を説明をお願いいたします。

(事務局) 社会教育法第13条「国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が審議会等で政令で定めるものの、地方公共団体にあっては教育委員会が社会教育委員の意見を聴いて行わなければならない。」とあり、これに基づいて諮問するものであります。

(生涯学習振興課、社会体育課、青少年課の順で補助金交付の概要について説明。)

(議長) このことについて、何か質問等がありますか。

(委員) 全体的に減額となっている中で、ボーイスカウト日本連盟千葉県連盟千葉地区とガールスカウト日本連盟千葉県支部千葉地区協議会への補助金が増額となっているのはどのような理由でしょうか。

(事務局) ボーイスカウト日本連盟千葉県連盟千葉地区については、姉妹都市でありますケソン市とのボーイスカウト交流事業を実施すること、また、ガールスカウト日本連盟千葉県支部千葉地区協議会については、県支部キャンプ参加事業を実施することから、この事業についての補助金が増額となっております。

(委員) 事務局については、団体育成の観点から財政的にも努力いただきたいと思います。

(事務局) 団体活動については、理解しておりますので、各課努力して参ります。

(議長) 予算は厳しいですけど、今後も各団体の活動の内容を充実して欲しい。説明された補助金交付について、社会教育委員会議として同意することとしてよろしいでしょうか。

(各委員) 意義なし。

(3) その他

(議長) 長澤委員作成の資料について、犬塚議長より説明を行いました。

(事務局) 事務局提出の資料について、生涯学習振興課長より説明を行いました。

平成20年度指定都市社会教育委員連絡協議会が5月30日に仙台市で開催されます。本市からは犬塚議長、西川副議長が出席を予定しております。また、平成21年度の協議会開催市が千葉市であることを報告しました。

(議長) 以上で本日の会議を終了します。

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課  
電話 043-245-5954